

日々の指導に役立つ
“実務実習カード”の作成と活用
の実践報告

宮原富士子** * 小林憲樹*

*ケイ薬局(有)ケンコーポレーション

** (株)ジェンダーメディカルリサーチ

【背景】

薬局における実務実習においては、
各大学が指導管理システムを考案している。
紙ベースの大学もあり、PCとインターネットを介した
指導・管理システムを構築しているところもある。

当薬局では2店舗の学生の所属大学(昭和大学、慶應義塾大学)
ともに「富士ゼロックス」システムを導入していた。

パソコン/ Web 上で時間割(プログラム)を構築ができ、他の団体
や薬局の時間割なども参考にできるこれらの指導管理システム
は、管理上は有用と考えられた。

【背景】

一方で、日々のOJT指導を臨床実務と並行して行う指導現場では、毎回都度PCで確認することは、業務的にも心理的にも非常に負担であることが事前準備の中で見出された。

学生の一日の振り返りや指導・評価を面談システムで行っていくためにもPC入力以外の方法(細やかな筆記メモや指導ポイントメモ)が必要とも考えられた。

【目的】

実務実習においては、提示されたカリキュラムを

「忠実に、丁寧に 漏れがないように 配慮しながら

全ての項目を網羅すること」

「ひとつずつの項目で出来る限り質のよい指導を

提供する」ことが肝要である。



準備段階で立案された時間割(プログラム)を日常業務の中でより充実して行うために、予定時間分の実務実習カードを独自に作成した。

実践で使用し評価・検討を行ったので報告する。

【内容：実務実習カード】

独自作成の実務実習カードは、

LS、SBO、日時、指導者、評価が予め記載され、予定時間割分の数を一組に構成した。

毎日の朝礼で1日の予定分のカードを持ち合いながら予定と目標を確認する。時間割(指導薬剤師)ごとにカードを共有し評価メモを記載し、終礼でそのカードに基づき1日の評価を行う方法で実施した。

1日分のカードを指導責任者薬剤師がみて、PCとインターネットを介して入力を行うことで、業務終了後、指導者がゆっくりと振りかえる時間も重要視した。

日々の指導に役立つ“薬局実務実習カード”

新規開発したツールが“薬局実務実習カード”

(試作品) 実用新案登録証 登録第3163060号

薬局実務実習カードの特長

- ☆ 手にとってメンバーが共有できるツール
- ☆ 一目でわかるツール
- ☆ 書きこみやメモが常にかけるツール
- ☆ 一日を通して目の前の目標がリマインドできるツール

カードセットの内容

<カードセット>

(小)カード一式→ カレンダーにいれ全員共有で予定を確認する

(大)カード二組 ひとつは実習生 ひとつは指導薬剤師が首かけホルダーカードにいれて持ち歩く。

指導薬剤師が1名の場合は、指導者はひとりで5枚(一日分カード)をもち

指導薬剤師が2名以上いる場合は、分担でカードを分け合い、その日一日自分が担当のSBOを常にリマインドしながら、場面ごとに教えてゆく

。

【使い方】【教え方】

＜使い方＞

- 1) あらかじめ作成したスケジュールにのっとり、お薬カレンダーを利用したカレンダーカードホルダーに予定カードをいれてゆく。今回使ったお薬カレンダーは毎日5つのポケットがあるので、1時限から5時限までいれられるようになっている。日にちと曜日を縦軸としてカードをいれてゆく
- 2) 一番下の段に 予備(通期通じて指導したい疑義照会そのほかのカード)を、また保留になったものをいれるカード入れ場所も確保した。
- 3) カードは自由自在に入れ替えが可能である。

教えかた

指導薬剤師が1名の場合は、指導者はひとりで5枚(一日分カード)をもち
指導薬剤師が2名以上いる場合は、分担でカードを分け合い、その日
一日自分が担当のSBOを常にリマインドしながら、場面ごとに教えてゆく

日々の指導に役立つ“薬局実務実習カード”

<朝礼 終礼>

朝礼で本日内容を 責任指導薬剤師と実習生で確認



責任指導薬剤師は店内のカレンダーやカードを店内職員に必要事項
担当事項を伝達



終日 それぞれの担当時間以外も 自分の責任項目をカバーするように
学生と会話をし目標をリマインドしながら一日を終える



責任指導薬剤師は他の薬剤師からカード回収とコメントをきき、その後と
その後、終礼で実習生と一日を振り返り 評価をおこなう

翌日のカード確認を行う

<責任指導薬剤師>上記に基づきPCシステムにより報告を行う

学生からの感想

- 1) その週に行く実習が、カードで月曜～金曜まで管理されているため、実習の進み方が明確になるので予習しやすい。
- 2) 1日5限の時間割でカードの枚数も5枚あるので、その日に行った項目やその評価等を毎日カードを通して指導薬剤師と確認でき、実習の記録をかきやすい。
- 3) 1つの項目で複数の単元を必要とするものは、カードも複数枚あるので実習をこなしてゆくと達成したカードも増えてゆき、実習の達成感が増し意欲が高まる
- 4) 持ち運べるため、指導薬剤師とその場で項目の確認ができ、実習への理解が深まる。
- 5) 実習中に学んだことをその場でカードの裏にメモ書きできるのでレポートを書くときやあとで見直したときに思い出しやすい。
- 6) できなかったことは何度も繰り返し教えてもらえるので便利である。
- 7) 突発的に できることになった予定外の項目もカードを取り出すことで、さっと指導薬剤師と共有しながら教えてもらえることで気持ちに余裕ができる。

指導薬剤師からの感想

- 1) 日々行う実習が、カードで分担できるので、責任も明確になり、事前準備も業務の合間にきちんとできるので効率的である。
- 2) 同じ内容でも複数の薬剤師が指導した場合に 自分自身もまなぶことができ、また他の指導薬剤師の指導方法との情報交換により薬局内の情報標準化ができてよかった。
- 3) ひとつずつ丁寧に指導士、その後メモなどを書いて渡すことで、日に日に実習薬学生の技能向上を日々みてゆくことができてよかった。
- 4) あらかじめ教えにくい項目があたったときは、さらに先輩の薬剤師などから情報を得て自分自身もよりレベルの高い情報を教えてもらうことが出来る経験をした。
- 5) 全員に一体感のある指導ができるようになった
- 6) 同じカードが何度もでてくるが、もれなくカリキュラムどおりに教えてゆくうちにその時間数をきちんと消化してゆくことの重要性がわかった。

【結果】

- 【結果と考察】今回、我々は独自作成の実務実習カードと、PC、インターネットを介した大学鋼地区の指導・管理システムを併用して実践指導と管理評価を行った。業務の時間帯には、その日に与えられたカード内容を100%こなせるよう道しるべとしたため、業務に支障が少なく、有用な研修が行われることに集中できた。2つの薬局ともに評価できる結果であった。学生からの評価・感想からも毎日安心して研修が受けられたことが報告された。

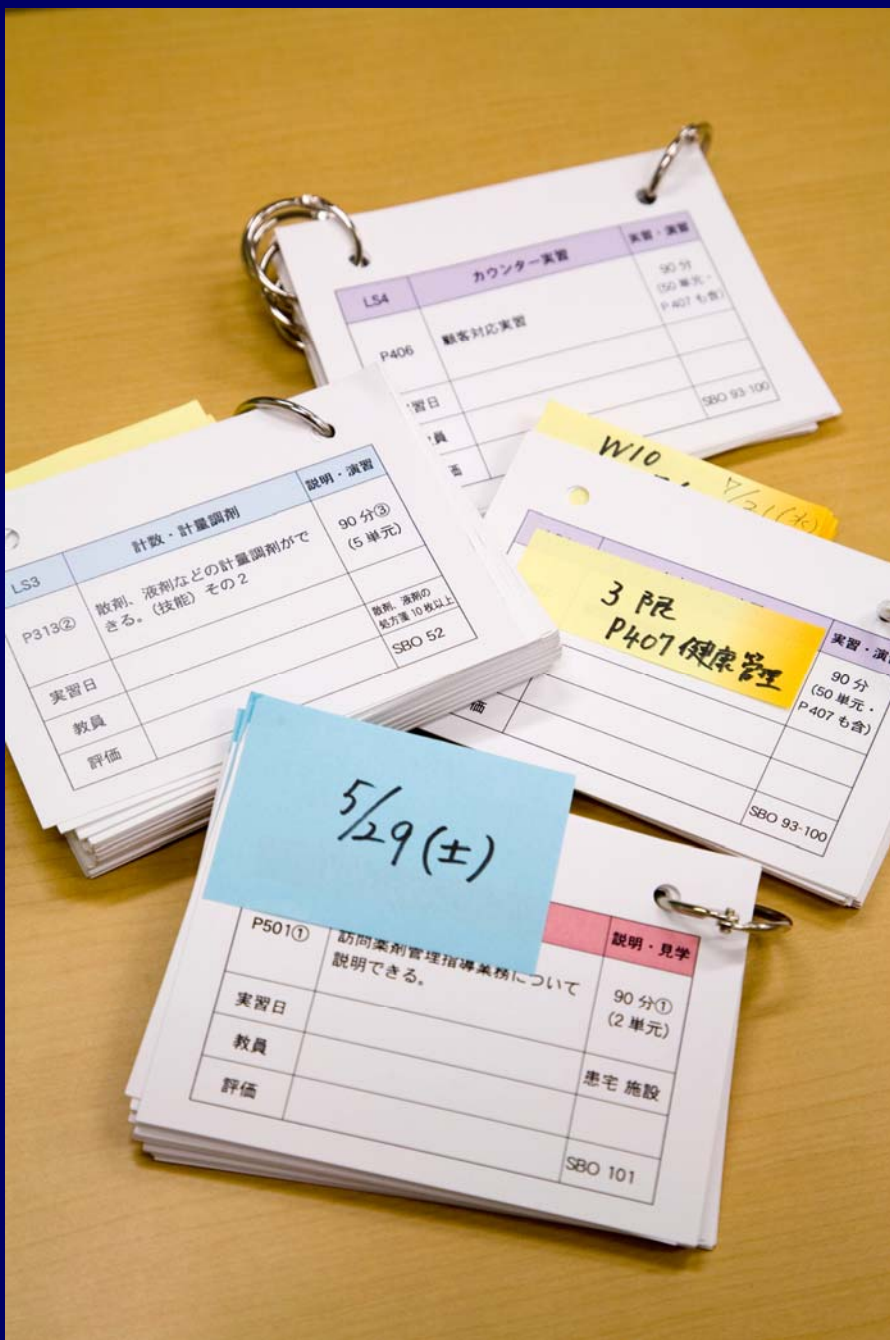
【考察】

- 長い研修期間の中で、日々の1つずつの目標立案確認ができたことのメリットが示唆された。今後は、よりいっそうの内容充実した実務実習カードとして多くの方に使っていただけるようにしてゆきたいと考えている。

事前準備 カリキュラムの時間割づくり【1期2名PC上で行った】 【2期1名は紙ベース】

The image shows a large, detailed curriculum schedule table. The table has multiple columns and rows, with some rows highlighted in yellow. The text is in Japanese and appears to be a complex schedule for a course or program. The table is spread out on a light-colored surface, possibly a desk.





5/29(土)

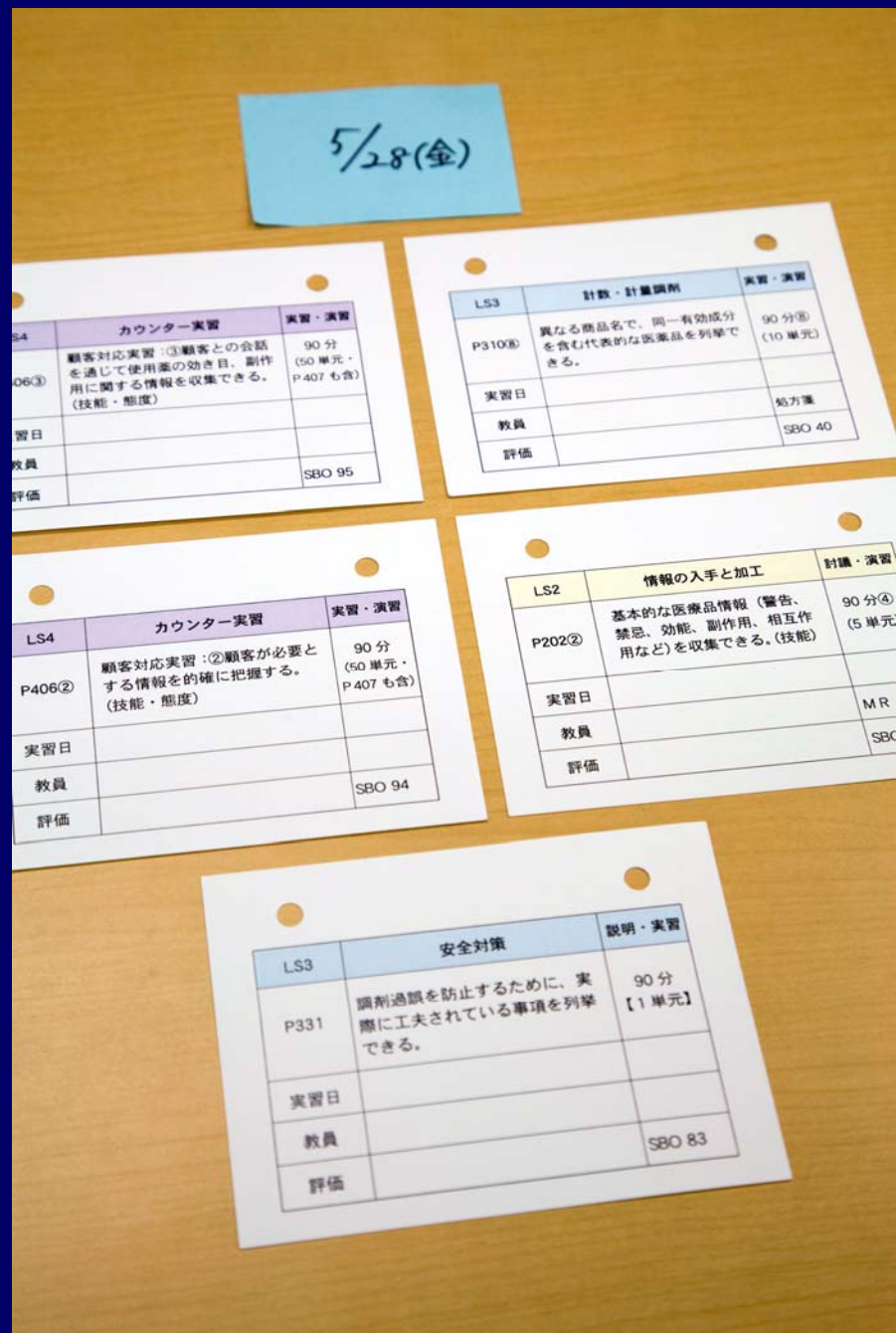
W10
1/21(水)

3限
P407健康管理

P501①		説明・見学
訪問薬剤管理指導業務について説明できる。		90分① (2単元)
実習日		
教員		患宅施設
評価		
		SBO 101

LS3		計数・計量調剤	説明・演習
P313②		散剤、液剤などの計量調剤ができる。(技能) その2	90分③ (5単元)
実習日			散剤、液剤の 処方量10枚以上
教員			
評価			
			SBO 52

LS4		カウンター実習	実習・演習
P406		顧客対応実習	90分 (50単元・ P407も含む)
実習日			
教員			
評価			
			SBO 93-100



5/28(金)

LS3		計数・計量調剤	実習・演習
P310③		異なる商品名で、同一有効成分を含む代表的な医薬品を列挙できる。	90分④ (10単元)
実習日			
教員			処方箋
評価			
			SBO 40

LS4		カウンター実習	実習・演習
P406③		顧客対応実習：③顧客との会話を通じて使用薬の効き目、副作用に関する情報を収集できる。(技能・態度)	90分 (50単元・ P407も含む)
実習日			
教員			
評価			
			SBO 95

LS2		情報の入手と加工	討議・演習
P202②		基本的な医薬品情報（警告、禁忌、効能、副作用、相互作用など）を収集できる。(技能)	90分④ (5単元)
実習日			
教員			MR
評価			SBO

LS4		カウンター実習	実習・演習
P406②		顧客対応実習：②顧客が必要とする情報を的確に把握する。(技能・態度)	90分 (50単元・ P407も含む)
実習日			
教員			
評価			
			SBO 94

LS3		安全対策	説明・実習
P331		調剤過誤を防止するために、実際に工夫されている事項を列挙できる。	90分 【1単元】
実習日			
教員			
評価			
			SBO 83



お薬カレンダーを活用して
毎週のカードで時間割を
薬局全員で共有した。

突発的にできた項目や
都合で出来なかった項目
は下のポケットを利用した

週初めの顔合わせで
その1週間のお互いの
目標を確認しあった。

きょうは、2時限目の
この項目を指導して
ください。注意点は
〇〇です。

わかりました。こうゆうふ
うに教えようと思います。
あの症例がいいですね。



きょうは、○△薬剤師
からこのことを指導
してもらいました。

はい。ここに書いてあ
るように、○○はでき
るようになりました。



この項目では、こうだったね。ここがまだできていないよね。などきめ細かい記録を行っていた。

項目ごとに、指導薬剤師が丁寧に気づいたことなどを記入したメモでその日の締めを行ってメモを渡した。

LS3	処方せんの受付	実習
P304①	処方せん受付時の対応ができる。 (技能・態度) その1	90分① (7単元)
実習日	5/18(火)	
教員	(赤印)	
評価	お薬手帳の長期の処方箋 自信が持てた。今年後半練習も 患者への対応はよくできていた。(二) ちゃんと対応した。(二)	患者 (2) SBO 30 SBO 77

実習生氏名					1	2	3	評価日時	指導薬剤師氏名
LS No	SBO No	※参照 日本薬剤師会 SBO No	到達目標(SBO)	不十分	ある程度できる	十分できる			
<薬局アイテムの流れ>									
P101	SBO1	(1)-1>1	薬局で取り扱うアイテムが医療の中で果たす役割について説明できる。	1	2	3			
	SBO2	(1)-1>2	薬局で取り扱うアイテムの保健・衛生、生活の質の向上に果たす役割を説明できる。	1	2	3			
	SBO3	(1)-1>3	薬局アイテムの流通機構に係わる人達の仕事を見学し、薬剤師業務と関連づけて説明できる。	1	2	3			
<薬局製剤>									
P102	✓ SBO4	(1)-2>4	代表的な薬局製剤・漢方製剤について概説できる。	1	2	3			
P103	✓ SBO5	(1)-2>5	代表的な薬局製剤・漢方製剤を調製できる。	1	2	3			
<薬局アイテムの管理と保存>									
P104	SBO6	(1)-3>6	医薬品の適正在庫とその意義を説明できる。	1	2	3			
	SBO7	(1)-3>7	納入医薬品の検収を体験し、そのチェック項目(使用期限、ロットなど)を列挙できる。	1	2	3			
	SBO8	(1)-3>8	薬局におけるアイテムの管理、配列の概要を把握し、実務を体験する。(知識・技能)	1	2	3			
<特別な配慮を要する医薬品>									
P105	SBO9	(1)-4>9	麻薬、向精神薬などの規制医薬品の取扱いについて説明できる。	1	2	3			
	SBO10	(1)-4>10	毒物、劇物の取扱いについて説明できる。	1	2	3			
	SBO11	(1)-4>11	法的な管理が義務付けられている医薬品(麻薬、向精神薬、劇薬、毒薬、特定生物由来製剤など)を挙げ、その保管方法を見学し、その意義について考察する。(態度)	1	2	3			
<薬剤師の心構え>									
P201	SBO12	(2)-1>1	医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守する。(態度)	1	2	3			
	✓ SBO13	(2)-1>2	職務上知り得た情報について守秘義務を守る。(態度)	1	2	3			
<情報の入手と加工>									
P202	✓ SBO14	(2)-2>3	医薬品の基本的な情報源(厚生労働省、日本製薬工業協会、製薬企業、日本薬剤師会、卸など)の種類と特徴を正しく理解し、適切に選択できる。(知識・技能)	1	2	3			
	✓ SBO15	(2)-2>4	基本的な医薬品情報(警告、禁忌、効能、副作用、相互作用など)を収集できる。(技能)	1	2	3			
	✓ SBO16	(2)-2>5	処方内容から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)	1	2	3			
P203	✓ SBO17	(2)-2>6	薬歴簿から得られる患者情報を的確に把握できる。(技能)	1	2	3			
P204	✓ SBO18	(2)-2>7	緊急安全性情報、不具合回収、製造中止などの緊急情報の取扱い方法を説明できる。	1	2	3			
P205	✓ SBO19	(2)-2>8	問い合わせに対し、根拠に基づいた論理的な報告書を作成できる。(知識・技能) できる。	1	2	3			
P206	✓ SBO20	(2)-2>9	医薬品・医療用具等安全性情報報告用紙に必要事項を記載できる。(知識・技能)	1	2	3			
<情報の提供>									
P208	✓ SBO21	(2)-3>10	入手した情報を評価し、患者に対してわかりやすい言葉、表現で適切に説明できる。(技能・態度)	1	2	3			
			入手した患者情報を、必要に応じ、適正な手続きを経て他の医療従事者に提供	1	2	3			

指導評価はPC上、
で行っていった。
2期目の学生は大学の
報告が紙ベースなので
紙で行った。



薬局実務実習カード

お問い合わせは myanko@vividlady.com (宮原まで)

〒111-0032 東京都台東区浅草3-4-1

(株)ジェンダーメディカルリサーチ 宮原富士子

電話090-3381-3823(調剤中出られないこともあります)

FAX:03-3876-9084

試作品のため、数が少なく現在単価は(大5500円1個小3500円1個のセットになっています)

大学単位や ある程度まとめた数になれば その大学オリジナル版制作が安価でできるようになります。

関連HP <http://www.vividlady.com>

<http://www.ebnjapan.org>

<http://www.hap-fw.org/>